

AREC・Fiiプラザ **第272回** リレー講演会

▶ **12月12日** 2024年
13:30~17:00

▶ **MARKETING分野**

会場：AREC4階会議室（上田市常田3-15-1信州大学繊維学部内AREC）
開催方法：会場及びZoomオンライン（ハイブリッド形式）

講演1 **広報視点で広げるマーケティングの新たな可能性**

13:30~14:30

講師：**柚木 真氏**（株式会社ナフィアス デジタルマーケティング・広報PRマネージャー
信州大学 先鋭領域融合研究群 社会基盤研究所 特任助教）

2015年創業の信州大学繊維学部発のベンチャー企業で、主にマーケティングと広報を担当しています。当社では、「一般のマスクより3倍情報のしやすいマスク」を研究開発・販売し、高性能な製品を市場に提供しています。長野県内では、広報を積極的にビジネスに活用している企業がまだ少ないのが現状です。

そこで講演では、広報の視点をマーケティングに取り入れることで生まれる新たな可能性についてお話しします。まず、広報とマーケティングの役割の違いや共通点を整理し、その両者が連携することで生まれる相乗効果を、具体的な事例とともにご紹介いたします。

講演2 **最新のデジタルマーケティングを支える技術と事例紹介**

14:30~15:30

講師：**峰尾 基次氏**（株式会社マクニカ 営業統括本部 シニアエバンジェリスト）

デジタルマーケティングは、企業が成長するために不可欠な要素となっています。顧客との関係性を深め、売上向上を実現するためには、デジタルマーケティングを積極的に導入し、効果的な施策を展開していくことが重要です。デジタルマーケティングを実践する基礎となるデジタル技術は日々進歩しており、これらを正しく理解し、ビジネスに組み込んでいくスキルの向上が必要であり、更にマーケティング力の差別化こそが、企業の成長に繋がると考えています。

本講演では、最初に、デジタルマーケティングを支える基礎技術としてAIやデータ活用を説明します。次に、デジタルマーケティングの新たな潮流についてご紹介し、最後に各社の事例を解説します。

<休憩10分>

体験会 **『AIロボットによるデジタルマーケティング』の体験会**

15:40~16:30

講師：**平野 真也氏**（株式会社マクニカ 官公ソリューション推進室 チーフデザイナー）

和田 照久氏（株式会社マクニカ 営業統括本部 東日本第2営業統括部 第2営業部 上田営業課）

AIを活用したデジタルマーケティングの体験会として、temiのソリューションをご紹介いたします。temiを活用する事で、店舗内の案内、商品情報の提供、顧客サービスの自動化などを支援します。

体験会では、どのようにAIを活用しデジタルマーケティングに生かすことができるかを、実機を使用して、皆様に体験いただき、未来のマーケティングツールを体験いただきます。

▶ **名刺交換・交流会** 16:30~17:00

主催：東信州次世代産業振興協議会・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

●お申し込み

申込フォーム <https://forms.gle/7eL1PTtaAigp14iP9>

申込フォームQRコード>>>

または所属・氏名・メールアドレス・参加方法をご記名の上、下記事務局までお申し込みください。

●お問い合わせ

一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター AREC事務局

Tel: 0268-21-4377 fax: 0268-21-4382 mail: mousikomi@arecplaza.jp <http://arecplaza.jp/>



テレプレゼンス&カスタマイズロボット temi

● 主な機能

- リモートからtemiを好きな場所へ自律走行により移動させて、ビデオ通話をすることができます。
- また、追従機能により相手と話しながら部屋を移動することもできます。



● アプリの拡張性

- Androidをベースとしたアプリケーションを搭載したり、Bluetooth通信を利用してセンサーやカメラ、その他のデバイスへ接続することができます。



高性能な自律ナビゲーションシステム

● 人に追従

- 目の前の人を追いかけて自動走行

● 簡単にマップ作成

- 施設を周回させてマップを自動認識

● 障害物を回避して走行

- 走行ルートに人が飛び出しても大丈夫



カスタマイズ

● お客様の課題/利用シーンに合わせたカスタマイズが可能

【カスタマイズイメージ】

- センサー/カメラ等と接続し、現実世界の「データを収集」。
- AIにより、蓄積された「データを解析」。
- 解析結果に基づいて、「現実世界へフィードバック」。

